

足助中学校の修学旅行

中学校の修学旅行は、東京と西伊豆の岩地に行っています。この旅程は、2005年から続いています。東日本大震災以降、都内での自由な班別行動は自粛しています。しかし、ふるさと足助に生きる学習を必ずメニューに入れています。岩地での海の体験学習は好評で、民宿の方たちとも足助中は通じています。地元、テレビ静岡の取材は毎回ですし、地引き網にもサービスの鯛が入っています。ブギボート、カヤック、ラフボード、シュノーケリングなど、より多彩な体験ができるようになりました。



足助中学校 校長 藤嶋力央

足助の夏のお祭り



がんなで 出かけよう!!



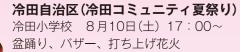
足助夏祭り

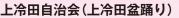
たんころりんの夕涼み 8月 万灯祭り 足助川遊歩道 8月 花火大会 足助グラウンド 8月

8月3日(土)~8月15日(木) 8月13·14日(火)(水) 18:00~ 8月14日(水) 20:30~



7月27日(土) 17:00~19:00 三州足助屋敷館内とその周辺 縁日遊び、屋台(午後5時より入館無料、縁日遊びチケットを6枚500円で販売)





上冷田集会所 8月13日(火) 17:00~ 盆踊り

大蔵自治区(大蔵サマーフェスティバル) 足助農山村広場 8月3日(土) 19:00~ 盆踊り、金魚すくい、花火など

新盛自治区(新盛の夕べ 2013)

新盛小学校 8月10日(土) 18:00~ 盆踊り、菓子投げ、くじ引きなど

則定自治区(則定自治区盆踊り大会)

則定小学校 8月3日(土) 19:00~ 盆踊り、バザー、抽選会

御蔵自治区(御蔵円山の夕べ)

御蔵小学校 8月3日(土) 18:00~ 盆踊り、福引き、打ち上げ花火など

萩野自治区(萩野夏祭り)

萩野小学校 8月3日(土) 19:00~ 盆踊り、バザー、フリーマーケットなど

御内自治区(御内夏祭り)

鼎館 8月10日(土) 花火大会、バーベキュー、ビンゴゲーム

明和自治区(赤田和の夕べ)

明和小学校 8月11日(日) 盆踊り、花火大会、バザーなど

綾渡の夜念仏と盆踊

平勝寺 8月10日(土)、15日(木) 夜念仏と盆踊



-編集後記-

あすけ通信第参号で読者のみなさんから「自分だけの美しい故郷の景色」を募集したところ、「こもでしの 滝:小学校の時、みんなで自転車で行った。大冒険の末たどりついた絶景だった。…美しい思い出かも…」と ご応募いただきました。そこで本号では、表紙の写真を葛沢町の「こもでしの滝」にしてみました。(た)

新規採用で足助支所の職員になりました。初めて足助に来たとき、自然の豊かさと人々の温かさ・つながりに感動したのを覚えています。青々とした若葉、澄みきった川、足助に住む方々の笑顔、祭りでの団結力。全てが自分にとっては新鮮で、いいところに来れたなぁと思っています。

これからも足助の魅力を見つけ、あすけ通信を通して「ふるさとの良さ」を伝えて参ります!(も)

あすけ通信/vol.5

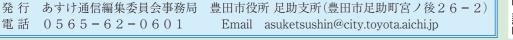
あすけ通信

あすけ通信ではBlog・Twitter・Facebookもやっています!! ぜひ一度ご覧になってください!!足助の魅力が満載ですよ☆



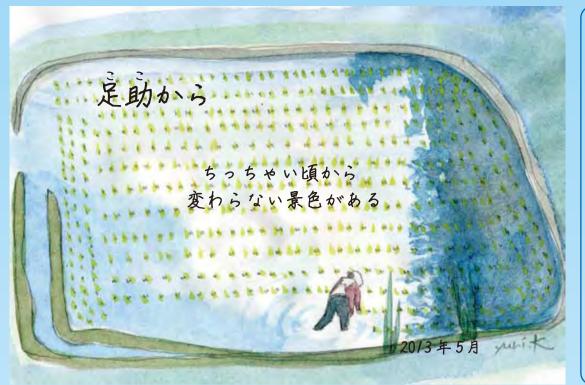












35年初300日





6月15日(土)、370名の太公望が早朝より巴川で鮎釣りをしました。 遡上した、まっ黄色の天然鮎が足助で待っています!

(ちなみに、本物の天然鮎はまっ黄色なんですよ!!知ってましたか??)

すっこ紹

(Iターン編)

五人目 山本圭吾さん(36歳) (名古屋市出身 現在新盛地区在住 お子さん2人)



インタビューに応じる山本さん

新盛の里山耕流塾に二度参加。通り道で見かけた空き家が気に入り、足助支所の空き家バンクに連絡すると「まさに今出そうとしていた」物 件だった。交渉が進み住めることが確定すると、すぐに仕事探しに入った。市担当からの情報で興味を持っていた森林組合の面接を受け働く ことに決めた。とんとん拍子にめでたく足助の住人となった。

足助に足を運ぶようになって以来、出来ないことは無理をせず「出来ません」と伝えてきた。しかしこれはちゃんとやっておかなければいけ ないということは1年住んでいたらだいたいわかる。例えば地域の草刈。「当日出られないなら前日に自分のすべき作業分は済ませておく。」 この眼識は大学卒業後に突き動かされるまま渡ったオーストラリアで養われたもの。旅をなりわいにして生きる人たちにたくさん出会い、努 めてかかわることでさまざまな生き方の深い部分にふれた。暮らすことそのものが楽しい。そんな中で常に感じていたのはコミュニケーショ ンが最も重要だということ。soulがあれば伝わる。日増しに人間力が磨かれた。

帰国後不思議なことにオーストラリアでの経験とつじつまがあっていった。東海地区各地で、情熱をもってオーガニック野菜に取り組む友 人が自然と出来て行った。30歳の時大須に自然食レストランをオープン。もちろん食材はオーガニックの農園をやっている友人から集めるこ だわりの店であった。オーナーとなり多忙を極める中でも耕流塾がしっかりアンテナにひっかかった。これがきっかけとなり、現在に至った。 大きな流れに乗ってるとしか言いようがない。こういう星のもとに生まれていると自覚している。

木が切れるのは男のたしなみ。まきストーブがある暮らし。もともと興味のあった林業。林業をやっていることで、地元に信用してもらえ たと振り返る。50~60年物のヒノキをチェーンソーで切り倒し、検尺してから切り揃え、トラックの入るところまで運び出す。間伐が終わっ た時はいつも「いい山になったな」と笑みがこぼれる。さまざまな特殊伐採(普通に倒せない木を倒す)もこなす。家に光が差し込むようになったと喜ぶ姿はきこり冥利。

フォレストワーカーになり市長に直接声を届ける機会も得た。その席でコーディネータに将来の夢を聞かれ、「緑がきれいだなあ。これだけは忘れずにいたい。」と答えた。常に手 ごたえを感じて生きてきた男の清々しい異彩が足助の山々でみごとなコントラストを描いている。



~スタート地点の風景~

6月2日、「足助ウォーク2013 野仏の里 明和 ~歴史と塩の道コース~」を 開催。市内外から124人が参加しました。早い梅雨入りということで心配され た天気も雨が落ちることなく、日焼けするほどでした。明和小学校をスター ト&ゴールとする地区の名所を巡る12kmというハードなコースで行われ、な かでも新名所として大岩山弘法が紹介されました。名前の通り大きな岩が重 なるようにしてできた洞窟に、弘法さんが江戸時代から祀られています。

参加者の方々から「アップダウンの多いコースで疲れたが、フルーツポンチ のふるまいやウォーク鍋のサービスもあって楽しく自分のペースで歩けまし た。|との感想もいただきました。(し)



~健康チェックコーナー~

足助の聞き書き集 第3集完成!



人生の先輩であるお年寄りの方々に、昔の暮らしや生活の知恵、技、暮らしの苦労などなど、その 生き方を聞かせていただき「話し言葉」だけで文章にまとめるのが「聞き書き」です。

足助では3年前豊田市の地域予算提案事業として聞き書き活動が始まり、事業が終了した昨年度からは 有志で"あすけ聞き書き隊"を結成、14人のメンバーでわくわく事業として活動しています。

そしてできたのが『足助の聞き書き集第3集』。話し手さんたちのお話には、それぞれに足助の昔の姿を 垣間見ることが出来ます。今回足助の聞き書き1年目から活動を続けているメンバーに、聞き書きに対 する想いを聞いてみました。

昭和を生きてきた人たちへの 尊敬の念を抱かざるを得ない!!

聞き書きをしていると 今を生きていくヒントをもら える気がしますし、足助のまち の景色の見え方が変わりました。 足助のことでも知らないこと だらけ。それを生きた言葉で 聞けるのが有り難いです。



学ばなければならないことは まだ山のようにあるのよ。

直接その人の口から聞くと、 時代の移り変わりの激しさに 自分の身体一つであがなって きたことが、オラの腐った 魂のひだひだを 震わせてくるのです。

